



Mary Carskadon先生による Meet the Professor Sessionのご案内

海外の学術集会では、その道の先達の臨床家や研究者を囲んで、少人数でお話を聞き、大きな講演では尋ねにくい細かい質問や実戦的な内容についての discussion を行うという集まりがプログラムに含まれています。日本では、年齢やキャリアにかかわらず、わからないこと、知りたいことがあれば遠慮せずに聞いてみるという習慣がないこともあって、こういった機会はなかなか持ってませんが、若手が自分のキャリア形成や研究方向、あるいは、診療で迷った場合に先達の歩みを直にお聞きすることによって、目の前が開けるという経験をするのは稀ではありません。

今回、ISMSJが公式にお招きしているMary Carskadon 先生は睡眠研究のパイオニアの1人であるDement教授の指導のもと、1979年にスタンフォード大学でPhDを取得、その後、長年にわたって睡眠とかかわってきておられます。その中でも特記すべき業績はMSLTの開発(Carskadon, M.A. and Dement, W.C. Sleep tendency: an objective measure of sleep loss. Sleep Research 6: 200, 1977)であり、この方法を採用するに至った背景を聞きたいと思う人は多くいるのではないのでしょうか？ また、1976年から1985年までStanford Summer Sleep Camp を主宰され、数多くの若い研究者を世に送り出してこられました。

ブラウン大学に移ってからも同様のSummer Campは続けられ、今年のAPSSでもSummer Camp経験者と今年の学生 12名を集めた活気あふれるpartyが例年通り行われました。このpartyには今回のAPSSのinvited speakerであるJodi MindellのほかProf Sonia Ancoli-Israelも顔を見せ、Mary門下の層の厚さを実感しました。なおSummer Campでは学生は3週間のオリエンテーションの後、3人ずつ4グループに分かれ、2か月にわたって研究に携わるのだそうです。Mary Carskadon先生は、現在、ブラウン大学の教授であり、今年のAPSSでもシンポジストとして登壇する現役の研究者ですが、彼女の活力と美しさの原点は、この若者たちとの交流であると、今年のpartyに参加した神山は確信しました。

Meet the Professors は、話す側と聞く側とに様々な Interaction が生まれ、いきいきした交流が持てることも目的のひとつです。したがって、組織委員が coordinator を努め、必要なときは通訳をしますが、基本的には自主的に質問をしにいくという気持ちでの参加をお願い致します。(神山 潤)

■ 日 時： 2010年9月3日(金曜日) 17:20～18:20

■ 会 場： 学術総合センター 1階 特別会議室

■ 対 象： ISMSJ 会員に限ります

■ 定 員： 20名 (裏面申し込み用紙にて先着順)

■ 参加費： 第2回 ISMSJ 学術集会の参加費 5000円が必要です

参加ご希望の方は、次ページの参加申込書にご記入後、8月2日(月)～8月22日(日)にFAXにてお申し込み下さい。(先着順)

参加の可否をe-mailにて返信いたします。また、申込み期間内に定員に達した場合はISMSJのHP <http://www.ismsj.org/> に掲載いたしますが、時間差でHP掲載前に満員になった場合は、何卒ご了承ください。

申し込み先: 第2回 ISMSJ 学術集会 MTP 担当 神山潤

FAX: 047-352-6237

送信先:FAX 047-352-6237

第2回ISMSJ学術集会 MTP担当 神山潤宛

ISMSJ 会員でない方は、以下の HP をご覧の上、入会手続きを 8 月 22 日までに
行って下さい(当日の入会受付は行っておりませんので、ご注意ください)

<http://www.ismsj.org/enrollment>

お申込書

平成 22 年 月 日

フリガナ

氏名

施設名

所属

職種

連絡先 e-mail

(自宅・勤務先)

● ISMSJ会員である ● ISMSJ会員でないが 月 日に申込書を送付した

Prof. Mary Carskadon にこういう話が聞きたいというご希望があれば、自由にご記入下さい。

当日の進行の参考にさせていただきます。